

国際英語学研究科 教員組織編制方針

国際英語研究科では、学部教育の方針を尊重しかつそれと連動した指導を進めるため、世界中の英語変種を認め合うという国際英語の視点に立って、グローバルな見地から国際英語学に関する広範な分野（英語学・英語教育・応用社会言語学）及び英米英語圏の文化に関する理解を極めて、これらを修得することを教育研究上の理念とする。本研究科は、この理念に基づく教育研究を通じて、専門的な英語コミュニケーション能力発表力の育成により、英米の言語・文化の枠を超えた新しい国際的視野を持つ社会人を養成し、国際化する企業組織、国際団体等で求められる多様な専門知識及び技術を有し、汎用性のある高度な英語力並びに異文化に対する深い理解及び柔軟な対応力を有する国際的な高度専門職業人を育成することを教育研究上の目的とする。このような理念・目的のもと、英語を公用語とする英語圏の言語・文化に関する広範な専門知識と教養を自主的・主体的に学び、文化の多様な価値観を尊重し、異文化交流のあり方を倫理的、複眼的、かつ体系的に理解できる判断力を身につけ、高度な英語運用能力及び情報収集・処理能力を養い、社会的責任とリーダーシップ精神を持って世界の発展に貢献できるように、適切な内容及び数の科目の設置、適切な教育方法に配慮し、柔軟で多様な教育カリキュラムの編制の方針とする。

本研究科は、このような教育研究上の理念・目的、及び、その実現のための教育カリキュラム編制の方針に適応した教員組織を編制する。各教員は、上記理念、目的、方針を貫徹するために、専攻内、専攻間、常勤と非常勤間の緊密な連携の中で、その役割と責任の所在を明確にする。

研究科長の指示の下、今年度の検討結果に基づいて、所期の教育研究上の理念・目的、及び、その実現のための教育カリキュラム編制の方針に適応した教員組織編制を実施する。新年度は教員の退職や研究休暇によって教員組織のバランスが大きく変動するが、各教員間の連携と、各専攻における教員配置の再検討を含めて、科目担当教員、指導教員、監督責任者のそれぞれが相互に緊密な連絡を取り合い、強調して研究指導を推進すると共に、専攻主任・研究科長による業務チェックを繰り返すことで、各教員の果たす業務の役割と責任の所在をさらに明確にしてゆく。